

(51)Int.Cl.	識別記号	F I	テ-マ-ト*(参考)
B 6 0 R	7/04	B 6 0 R 7/04	T 3 D 0 2 0
B 6 0 Q	3/02	B 6 0 Q 3/02	E 3 D 0 2 2
B 6 0 R	11/02	B 6 0 R 11/02	C 3 K 0 4 0

審査請求 未請求 請求項の数9 O L (全 8 頁)

(21)出願番号	特願2002-34922(P2002-34922)	(71)出願人	000003137 マツダ株式会社 広島県安芸郡府中町新地3番1号
(22)出願日	平成14年2月13日(2002.2.13)	(72)発明者	菊池 礼治 広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ株式会社内
		(72)発明者	伊丹 幸人 広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ株式会社内
		(72)発明者	田口 知生 広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ株式会社内

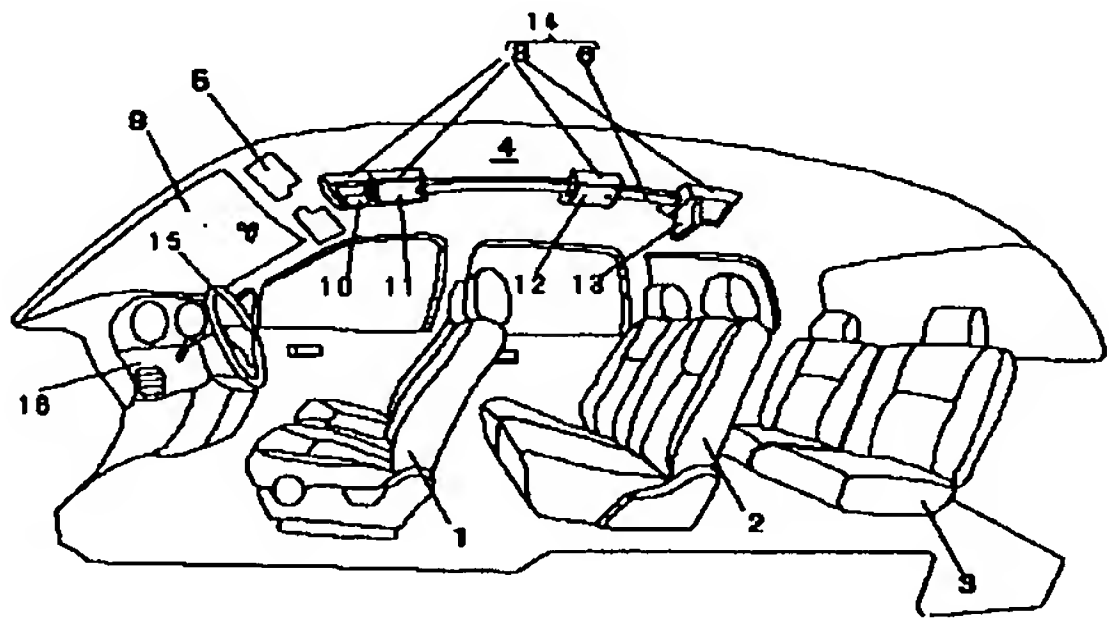
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 車両のオーバーヘッドコンソール構造

(57)【要約】

【課題】前部座席用と後部座席用のオーバーヘッドコンソールの配設作業性を飛躍的に向上させると共に、前部座席と後部座席の利便性と快適性を両立し、かつ、外観の優れたオーバーヘッドコンソールを提供することにある。

【解決手段】オーバーヘッドコンソール14は、車室内天井4に配設されるベースフレーム6と、該ベースフレーム6に形成され1列目シート1上方から3列目シート3上方の間をわたって配設されるスライドガイド部と、このスライドガイド部に沿って車両前後方向に摺動自在に嵌合されたベースユニットと、該ベースユニットを介してベースフレーム6に配設される複数の機能の異なるコンソールユニット8とを備え、上記オーバーヘッドコンソール14を車室内天井4に配設するだけで上記複数のコンソールユニット8は同時に車室内天井4に配設される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】車室内に配設される前部座席と該前部座席の後方に配設される後部座席と車両天井の車室内側に配設されるオーバーヘッドコンソールを備えた車両において、上記オーバーヘッドコンソールは、上記車両天井の車室内側に配設されるベースフレームと、該ベースフレームに形成され上記前部座席上方から上記後部座席上方の間にわたって配設されるスライドガイド部と、該スライドガイド部に沿って車両前後方向に摺動自在に嵌合されたベースユニットと、該ベースユニットを介してベースフレームに配設される少なくとも2つの互いに機能の異なるコンソールユニットとを備え、上記ベースフレームと上記ベースユニットと上記コンソールユニットが一体化されて上記オーバーヘッドコンソールを形成し上記車両天井の車室内側に取り付けられていることを特徴とする車両のオーバーヘッドコンソール構造。

【請求項2】上記コンソールユニットの少なくとも1つが小物入れであることを特徴とする請求項1記載の車両のオーバーヘッドコンソール構造。

【請求項3】上記コンソールユニットの少なくとも1つがルームランプであることを特徴とする請求項1記載の車両のオーバーヘッドコンソール構造。

【請求項4】上記コンソールユニットの少なくとも1つが画像モニターであることを特徴とする請求項1記載の車両のオーバーヘッドコンソール構造。

【請求項5】上記ベースユニットと上記コンソールユニットが一体に成形されていることを特徴とする請求項1記載の車両のオーバーヘッドコンソール構造。

【請求項6】上記スライドガイド部に沿って配設され電源用の電気又は情報信号を伝達可能な伝達基板と、上記画像モニター又はルームランプに接続され電源用の電気又は情報信号を伝達可能な伝達部材とを備え、該伝達部材が上記伝達基板に接触することで伝達基板に入力される電源用の電気又は情報信号が画像モニター又はルームランプに伝達されることを特徴とする請求項3乃至4記載の車両のオーバーヘッドコンソール構造。

【請求項7】上記スライドガイド部に沿って摺動する上記ベースユニットに取り付けられる上記コンソールユニットを上記スライドガイド部の任意の位置に固定可能にする固定機構を具備することを特徴とする請求項1記載の車両のオーバーヘッドコンソール構造。

【請求項8】上記コンソールユニットはベースフレームから着脱可能に設けられていることを特徴とする請求項1記載の車両のオーバーヘッドコンソール構造。

【請求項9】上記車室内には前後に3列のシートが配設され、上記スライドガイド部が1列目シートの上方から3列目シートの上方までの間にわたって配設されていることを特徴とする請求項1記載の車両のオーバーヘッドコンソール構造。

【請求項10】上記車両天井の車室内側に配設されるル

ーフレインフォースメントに上記ベースフレームが取り付けられていることを特徴とする請求項1記載の車両のオーバーヘッドコンソール構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、自動車の眼鏡や小物等を収納するオーバーヘッドコンソールに関するものである。

【0002】

10 【従来の技術】従来、小物を収納する収納部等を具備したセンターコンソールが運転席と助手席の間に配設されてきたが、より多くの収納部を設けたり、あるいは多機能化を図るために、小物入れやルームランプ等の機能の異なる複数のコンソールユニットで構成されたものを前部座席の運転席と助手席上方の、天井の車室内側に配設したオーバーヘッドコンソールが知られている。

【0003】一方、近年、車両に多人数が乗車したいというニーズが高まっており、3列等の多数列のシートを有するワゴンやRV車等が人気を集め、その2列目、3列目シート等の後部座席の利便性と快適性の向上が求められている。そこで、例えば3列目シートを有する車両では、前部座席上方に前部座席用のオーバーヘッドコンソールを配設し、2列目、3列目シート上方にも画像モニターや荷物入れ等の機能を備えた後部座席用のオーバーヘッドコンソールを配設して、後部座席の利便性と快適性を向上したものがある（例えば特開平10-071895号公報）。

【0004】しかしながら、上述のような構成をとる車両においては、後部座席用のオーバーヘッドコンソールは2列目、3列目シートの乗員に対応させた位置に配設されるため、前部座席用のオーバーヘッドコンソールとは離れた位置に別々に配設されることとなり、前部座席用のオーバーヘッドコンソールと後部座席用のオーバーヘッドコンソールを個々に取り付けなければならず、取り付け工数の増加が問題となっていた。また、前部座席用のオーバーヘッドコンソールと後部座席用のオーバーヘッドコンソールが別々に間隔を持って配設されることは、外観上好ましい形態ではなかった。

【0005】一方、前部座席用のオーバーヘッドコンソールと後部座席用のオーバーヘッドコンソールを一体化して、天井に取り付けることも考えられるが、後部座席用のオーバーヘッドコンソールを2列目、3列目シートの乗員に最適な位置に配設すると、オーバーヘッドコンソール全体が必要以上に大型化するという問題があり、一方、逆に、オーバーヘッドコンソールを適切な大きさにすると、各座席の乗員の適切な位置に配設することができず、利便性や快適性が損なわれるという問題があった。

【0006】

50 【発明が解決しようとする課題】そこで、この発明は以

上のような問題に着目してなされたもので、その課題は、前部座席用と後部座席用のオーバーヘッドコンソールの配設作業性を飛躍的に向上させると共に、前部座席と後部座席の利便性と快適性を両立し、かつ、外観の優れたオーバーヘッドコンソールを提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】前述の課題を達成するため、本発明にあっては次のような構成としてある。本願の請求項1に係わる発明は、車室内に配設される前部座席と該前部座席の後方に配設される後部座席と車両天井の車室内側に配設されるオーバーヘッドコンソールを備えた車両において、上記オーバーヘッドコンソールは、上記車両天井の車室内側に配設されるベースフレームと、該ベースフレームに形成され上記前部座席上方から上記後部座席上方の間にわたって配設されるスライドガイド部と、該スライドガイド部に沿って車両前後方向に摺動自在に嵌合されたベースユニットと、該ベースユニットを介してベースフレームに配設される少なくとも2つの互いに機能の異なるコンソールユニットとを備え、上記ベースフレームと上記ベースユニットと上記コンソールユニットが一体化されて上記オーバーヘッドコンソールを形成し上記車両天井の車室内側に取り付けられている構成としたものである。

【0008】上記構成によれば、少なくとも2つのコンソールユニットがベースユニットを介して1つのベースフレームに取り付けられ、これらが1つのオーバーヘッドコンソールを形成しているため、このオーバーヘッドコンソールを車室内天井へ取り付ける配設作業をするだけで上記すべてのコンソールユニットを同時に車室内天井に配設することができ、配設作業性が飛躍的に向上する。

【0009】また、乗員の要求に応じて上記コンソールユニットの車両前後方向の位置を前部座席上方から後部座席上方まで移動することができるため、上記コンソールユニットを前部座席と後部座席の乗員が最適な位置に移動して利用することができる。

【0010】一方、このコンソールユニットをベースフレームの前端部に並べて配設することもできるため、複数のコンソールユニットを一体感のある優れた外観にすることができる。

【0011】よって、コンソールユニット全体の配設作業性を飛躍的に向上すると共に、後部座席の利便性と快適性を向上し、かつ、外観の優れたオーバーヘッドコンソール構造にすることができる。

【0012】本願の請求項2に係わる発明は、上述のコンソールユニットの少なくとも1つが小物入れである構成としたものである。

【0013】上記構成によれば、たばこ、化粧道具などの小物を収納する小物入れの位置を前部座席上方から後部座席上方まで移動することができるため、上記小物入

れを前部座席と後部座席の乗員が最適な位置に移動して利用することができる。

【0014】よって、前部座席と後部座席の利便性が向上する。

【0015】本願の請求項3に係わる発明は、上述のコンソールユニットの少なくとも1つがルームランプである構成としたものである。

【0016】上記構成によれば、ルームランプの位置を前部座席上方から後部座席上方まで移動することができるため、上記ルームランプを前部座席と後部座席の乗員が最適な位置に移動して利用することができる。また、インストルメントパネルやステアリングハンドル等の影になり見えにくい場所を上記ルームランプを車両前後方向に移動することで照らすことができる。

【0017】よって、前部座席と後部座席の利便性が向上する。また、ルームランプの照射範囲を拡大することができる。

【0018】本願の請求項4に係わる発明は、上述のコンソールユニットの少なくとも1つが画像モニターである構成としたものである。

【0019】上記構成によれば、上記画像モニターを後部座席の乗員の最適な位置に移動して利用することができる。

【0020】よって、後部座席の快適性が向上する。

【0021】本願の請求項5に係わる発明は、上述のベースユニットとコンソールユニットが一体に成形されている構成としたものである。

【0022】上記構成によれば、上記ベースユニットと上記コンソールユニットが一体に成形されるため、上記ベースユニットに上記コンソールユニットを取り付ける作業を必要とせず、また、部品点数の削減をすることができる。

【0023】よって、取り付け作業の工数と部品点数の削減をすることができる。

【0024】本願の請求項6に係わる発明は、上述の上記スライドガイド部に沿って配設され電源用の電気又は情報信号を伝達可能な伝達基板と、上記画像モニター又はルームランプに接続され上記電源用の電気又は情報信号を伝達可能な伝達部材とを備え、該伝達部材が上記伝達基板に接触することで伝達基板に入力される電源用の電気又は情報信号が画像モニター又はルームランプに伝達される構成としたものである。

【0025】上記構成によれば、上記画像モニター又はルームランプが前部座席上方から後部座席上方まで移動した場合であっても、画像モニター又はルームランプに接続される伝達部材がスライドガイド部に沿って配設される伝達基板と接触することにより、伝達基板に伝達される電源用の電気又は情報信号を伝達部材を介して画像モニター及びルームランプに伝達することができるため、前部座席と後部座席の乗員が最適な位置に移動して

10

20

30

40

50

利用することができる。

【0026】よって、前部座席と後部座席の利便性と快適性が向上する。

【0027】本願の請求項7に係わる発明は、上述のスライドガイド部に沿って摺動する上記ベースユニットが上記スライドガイド部の任意の位置に固定可能にする固定機構を具備する構成としたものである。

【0028】上記構成によれば、上記コンソールユニットを上記ベースフレームの任意の位置に固定することができるため、車両の発進や停車によりコンソールユニットが移動するのを防ぐことができる。

【0029】よって、コンソールユニットの不用意な移動を防ぐことができる。

【0030】本願の請求項8に係わる発明は、上述のコンソールユニットはベースフレームから着脱可能に設けられている構成としたものである。

【0031】上記構成によれば、上記コンソールユニットの順序や個数を容易に変更することができる。

【0032】よって、乗員のニーズに対応した好みのオーバーヘッドコンソール形態にすることができる。

【0033】本願の請求項9に係わる発明は、上述の車室内には前後に3列のシートが配設され、上記スライドガイド部が1列目シートの上方から3列目シートの上方までの間にわたって配設されている構成としたものである。

【0034】上記構成によれば、上記1列目、2列目、3列目シートの乗員がコンソールユニットを最適な位置に調節し、利用することができる。また、コンソールユニットの1つが画像モニターである場合には、2列目シートの乗員が画像モニターを見たくない時に、画像モニターを3列目シート上方に移動し、3列目の乗員のみが見ることができるようにするなど、乗員のニーズに対応した画像モニターの配置にすることができる。

【0035】よって、2列目、3列目シートの利便性と快適性が向上する。

【0036】本願の請求項10に係わる発明は、上述の車両天井の車室内側に配設されるルーフレインフォースメントに上記ベースフレームが取り付けられている構成としたものである。

【0037】上記構成によれば、上記オーバーヘッドコンソールは剛性部材であるルーフレインフォースメントに固定されるため、特別の支持用の座部を必要とせず上記オーバーヘッドコンソールの支持剛性を確保することができる。

【0038】よって、オーバーヘッドコンソールを確実に車両天井の車室内側に取り付けることができる。

【0039】

【発明の効果】前部座席用と後部座席用のオーバーヘッドコンソールの配設作業性を飛躍的に向上させると共に、前部座席と後部座席の利便性と快適性を両立し、か

つ、外観が優れるという効果がある。

【0040】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照しながら、本発明の実施形態を説明する。図1は、本発明に係わる車室内の側面図を示す。車室内には、運転席と助手席とで構成される1列目シート1と、この1列目シート1後方の2列目シート2と、この2列目シート2後方の3列目シート3が配設されている。4は車室内天井を示し、この車室内天井4の車幅方向略中央部にオーバーヘッドコンソール14が配設されている。このオーバーヘッドコンソール14は、1列目シート1上方の位置から3列目シート3上方の位置まで車両前後方向にわたって配設される1つのベースフレーム6と、このベースフレーム6に摺動自在に嵌合されたベースユニット7（図4参照）を介して取り付けられる4つのコンソールユニット8から形成されている。尚、ベースユニット7とコンソールユニット8を一体に成形することもでき、図7を参照して後述する。この4つのコンソールユニット8内には、前方からルームランプ10、眼鏡ケース11、小物入れ12、画像モニター13がそれぞれ配設されている。ルームランプ10と眼鏡ケース11は、1列目シート1上方の位置に調節され配設されており、小物入れ12は2列目シート2上方の位置に、画像モニター13は3列目シート3上方にそれぞれ調整され配設されている。即ち、乗員の要求に対応した位置にコンソールユニット8を調節した構成になっている。車室内天井4のフロントガラス9近傍にはサンバイザー5が配設されており、15はステアリングハンドルを示し、16はインストルメントパネルを示す。

【0041】図2は、コンソールユニット8をベースフレーム6の前端部に連続して並べた状態を示し、その拡大図を図3に示す。複数のコンソールユニット8の各々がその外面の形状と大きさを均一に設計されており、コンソールユニット8を連続して並べて配設した時にコンソールユニット8の間の隙間は、ほぼ無い状態になる。この状態では4つのコンソールユニット8は1列目シート1の上方にまとまって一体感のある状態となるため、非常に外観が優れる。尚、この4つのコンソールユニット8は主としてポリプロピレンからなる合成樹脂で形成され、同色で構成される。

【0042】図4はオーバーヘッドコンソール14を分解した状態で下から見た斜視図である。ここで、オーバーヘッドコンソール14の構造を詳述する。オーバーヘッドコンソール14は、車室内天井4に配設され車両前後方向に延びる1つのベースフレーム6と、このベースフレーム6のスライドガイド部6aに摺動自在に嵌合する4つのベースユニット7とこれらのベースユニット7にそれぞれ取り付けられルームランプ10、眼鏡ケース11、小物入れ12、画像モニター13を具備する4つのコンソールユニット8で構成される。ベースフレーム

6には、断面T形状の溝を持つスライドガイド部6aがベースフレーム6の車両前後方向の略全長にわたって形成されている。また、この断面T形状の溝に沿って伝達基板28が配設されている。さらに、スライドガイド部6aの左右には、ロック穴6bが車両前後方向に所定の間隔をもって連続して形成されている。このロック穴6bにベースユニット7に取り付けられるロック部材24(図8参照)が係合することでベースユニット7はベースフレーム6のスライドガイド部6aに固定される。ストップ19はスライドガイド部6aの後端部に着脱可能に取り付けられ、コンソールユニット8がベースフレーム6から離脱するのを防ぐ部材である。また、ストップ19を取り外すことでコンソールユニット8をベースフレーム6から容易に離脱させることができ、コンソールユニット8の順序や個数を容易に変更することができる。

【0043】コンソールユニット8の順序を変更した例を図5に示し、小物入れ12と画像モニター13の順序を入れ替えた形態を示す。コンソールユニット8は前方から、ルームランプ10、眼鏡ケース11、画像モニター13、小物入れ12の順序で配設され、ルームランプ10、眼鏡ケース11は1列目シート1上方に配設され、画像モニター13は2列目シート2上方に小物入れ12は3列目シート3上方にそれぞれ配設されている。この形態では、3列目シート3の乗員が最適な位置で小物入れ12を利用することができ、また、2列目シート2の乗員と3列目シート3の乗員が画像モニター13を見ることができる。

【0044】図6は、図3のA-A断面図を示し、オーバーヘッドコンソール14の取り付け構造を詳述する。車両外面を形成するルーフパネル20に接着剤21を介して車両前後方向にわたって延びるルーフレインフォースメント18が取り付けられている。このルーフレインフォースメント18にはボルト孔が形成されており、このボルト孔にトップシーリング22とベースフレーム6に形成された孔を挿通してボルト17が締め込まれ、ベースフレーム6はトップシーリング22を介してルーフレインフォースメント18に締着されている。このボルト17による締着部はベースフレーム6の車両前後方向の略前端部と略中央部と略後端部の3個所に設けられている。ボルト17はスライドガイド部6aの断面T形状の溝から締着しており、乗員の位置からはこのボルト17が見えにくい構造になっている。尚、ベースフレーム6がこのルーフレインフォースメント18を兼ねた構成にすることもできる。ベースフレーム6には断面T形状の溝を有するスライドガイド部6aが形成されており、このスライドガイド部6aと嵌合するベースユニット7の円形の支持部7cと摺接部7bが車両前後方向に摺動自在に嵌合している。このベースユニット7には、ベースユニット7に形成されるネジ孔にネジ23で画像モニタ

ー13の上壁の孔を挿通してネジ23が締め込まれ、画像モニター13をベースユニット7に締着している。画像モニター13はコンソールユニット8の1つとして例に上げたものであり、他のコンソールユニット8も同じ構成となる。

【0045】図7は図6のベースユニット7とコンソールユニット8を一体に成形した場合の断面図を示す。ベースユニット7のベース板7a、摺接部7b、支持部7cとコンソールユニット8は一体に成形されている。このように一体成形することでベースユニット7にコンソールユニット8を取り付ける作業を必要とせず、部品点数も削減することができる。画像モニター13はコンソールユニット8の1つとして例に上げたものであり、他のコンソールユニット8も同じ構成となる。

【0046】図8は、ベースユニット7を分解した斜視図を示す。ここで、ベースユニット7の構造を詳述する。ベースユニット7は、ベース板7aの略中央に摺接部7bが形成されており、この摺接部7bに支持部7cの中央部が嵌合し、図示しないネジで締着することで上記支持部7cは取り付けられる。尚、このベース板7aと摺接部7bと支持部7cを一体成形することもできる。以下、固定機構について詳述する。ベース板7aにはこのベース板7aを貫通する溝7dが左右に設けられ、その溝7d内にはそれぞれ、ロック部材24とばね25が配設され、このばね25によりロック部材24はベース板7aから上方に突出する方向に付勢される。このロック部材24にワイヤー26の一方が接続されており、もう一方はレバー27に接続される。このレバー27の操作により、ワイヤー26が引っ張られ、ロック部材24のばね25による付勢に対向する方向に作動し、ロック部材24の突出部が溝7d内に移動される。即ち、レバー27の操作によりロック部材27とロック穴6b(図4参照)との係合を解除することになり、ベースユニット7はスライドガイド部6aを摺動可能になる。

【0047】図9は画像モニター13へ電源用の電気と情報信号を伝達する伝達機構を示した斜視図である。ここで、伝達機構を詳述する。ベースフレーム6に伝達基板28が埋め込まれる図示しない凹部が形成されており、その凹部に伝達基板28がネジ32によりベースフレーム6に取り付けられている。この伝達基板28には電源用の電気を伝達する電気伝達板28aと映像信号を伝達する映像信号伝達板28bと音声信号を伝達する音声信号伝達板28cが配設されている。これらの電気伝達板28aと映像信号伝達板28bと音声信号伝達板28cにそれぞれ接触し電源用の電気と映像信号と音声信号をそれぞれ伝達する伝達部材29が画像モニター13に接続されており、電源用の電気と映像信号と音声信号が画像モニター13に伝達される。この伝達部材29が伝達基板28に到達するようにコンソールユニット8とベースユニット7に開口部30が設けられている。一方、電

気伝達板28aと映像信号伝達板28bと音声信号伝達板28cはそれぞれ図示しないバッテリー、映像出力源、音声出力源に図示しない配線によって接続される。尚、31はイヤホンジャック31を示し、このイヤホンジャック31から音声信号が出力される。

【0048】次に、本実施例に係わる発明の作用について説明する。図1に示すように、乗員の要求に応じてコンソールユニット8の車両前後方向の1列目シート1上方から3列目シート3上方まで移動することができるため、上記コンソールユニット8をすべての乗員が最適な位置に移動して利用することができる。

【0049】これにより、たばこ、化粧道具などの小物を収納する小物入れ12の位置を1列目シート1上方から3列目シート3上方まで移動することができるため、上記小物入れ12をすべての乗員が最適な位置に移動して利用することができる。

【0050】また、ルームランプ10の位置を1列目シート1上方から3列目シート3上方まで移動することができるため、上記ルームランプ10をすべての乗員が最適な位置に移動して利用することができる。あわせて、インストルメントパネル16やステアリングハンドル15等の影になり見えにくい場所を上記ルームランプ10を車両前後方向に移動することで照らすことができる。

【0051】そして、2列目シート2の乗員がモニター13を見たくない時に、画像モニター13を3列目シート3上方に移動し、3列目シート3の乗員のみが見ることができるようにするなど、画像モニター13を2列目シート2と3列目シート3の乗員の最適な位置に移動して利用することができる。

【0052】一方、図2、図3に示すように、この4つのコンソールユニット8をベースフレーム6の前端部に並べて配設することにより、複数のコンソールユニット8を一体感のある優れた外観にすることもできる。

【0053】図4に示すように、ルームランプ10、眼鏡ケース11、小物入れ12、画像モニター13の4つのコンソールユニット8がベースユニット7を介して1つのベースフレーム6に取り付けられ、これらが1つのオーバーヘッドコンソール14を形成しているため、このオーバーヘッドコンソール14を車室内天井4へ取り付ける配設作業をするだけで上記すべてのコンソールユニット8を同時に車室内天井4に配設することができるので、配設作業性が飛躍的に向上する。

【0054】また、ベースフレーム6のロック穴6bにベースユニット7に取り付けられるロック部材24（図8参照）に係合することでベースユニット7はベースフレーム6に固定されるため、コンソールユニット8はベースフレーム6の任意の位置に固定することができ、車両の発進や停車によりコンソールユニット8が不用意に移動するのを防ぐことができる。

【0055】図4、図5に示すように、ストッパ19を

外すことでコンソールユニット8をベースフレーム6から離脱することができ、コンソールユニット8の順序や個数を容易に変更することができるため、乗員のニーズに対応した好みのオーバーヘッドコンソール14の形態にすることができる。

【0056】図6に示すように、オーバーヘッドコンソール14は剛性部材であるルーフレインフォースメント18に固定されるため、特別な支持用の座部を必要とせずオーバーヘッドコンソール14の支持剛性を確保することができる。

【0057】一方、図7に示すものでは、ベースユニット7とコンソールユニット8が一体に成形されるため、ベースユニット7にコンソールユニット8を取り付ける作業を必要とせず、工数と部品点数の削減をすることができる。

【0058】図9に示すように、画像モニター13とルームランプ10が1列目シート1上方から3列目シート3上方まで移動した場合であっても、画像モニター13とルームランプ10に接続される伝達部材29がスライドガイド部6aに沿って配設される伝達基板28と接触することにより、伝達基板28に伝達される電源用の電気と情報信号を伝達部材29によって画像モニター13とルームランプ10に伝達することができるため、乗員すべてが最適な位置に移動して利用することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本考案の実施例を示す側面図。

【図2】本考案の実施例を示す斜視図。

【図3】本考案の実施例を示す拡大斜視図。

【図4】オーバーヘッドコンソールの分解斜視図。

【図5】コンソールユニットの順序を変更した1例を示す側面図。

【図6】図3のA-A断面図。

【図7】図6のベースユニットとコンソールユニットを一体成形した断面図。

【図8】ベースユニットの分解斜視図。

【図9】電源用の電気及び情報信号の伝達機構の拡大分解斜視図。

【符号の説明】

1 1列目シート

2 2列目シート

3 3列目シート

4 車室内天井

6 ベースフレーム

6a スライドガイド部

6b ロック穴

7 ベースユニット

7b 摺接部

7c 支持部

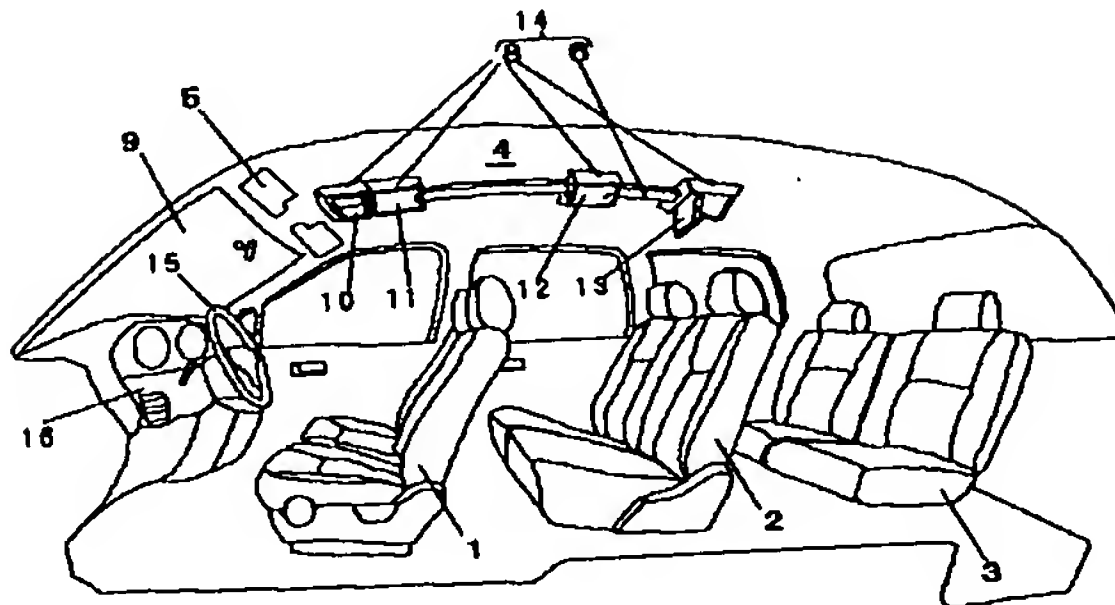
8 コンソールユニット

10 ルームランプ

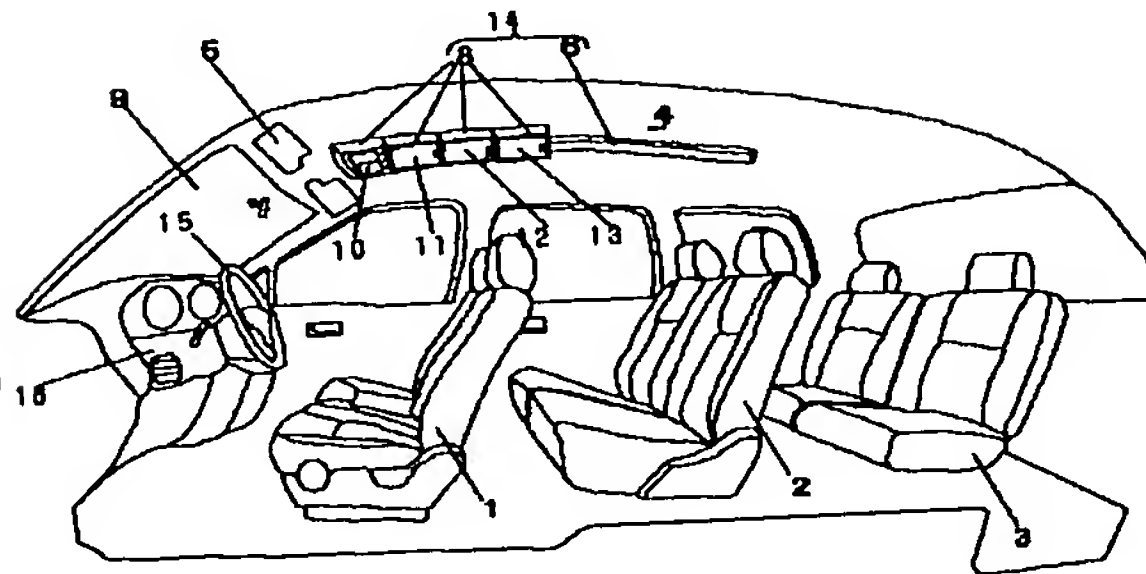
- 11 眼鏡ケース
12 小物入れ
13 画像モニター
14 オーバーヘッドコンソール
17 ボルト
18 ルーフレインフォースメント
19 ストッパ

- 24 ロック部材
28 伝達基板
28a 電気伝達基板
28b 映像信号伝達基板
28c 音声信号伝達基板
29 伝達部材

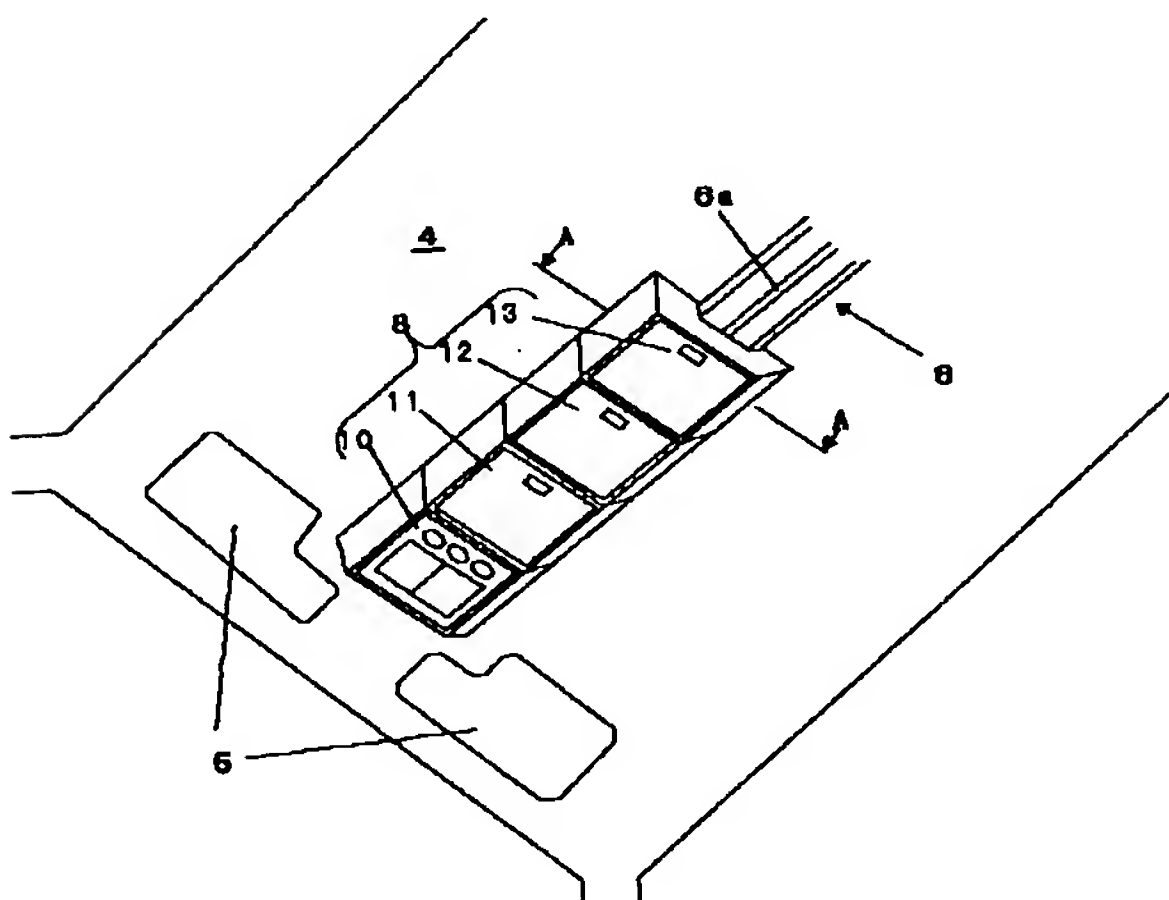
【図1】



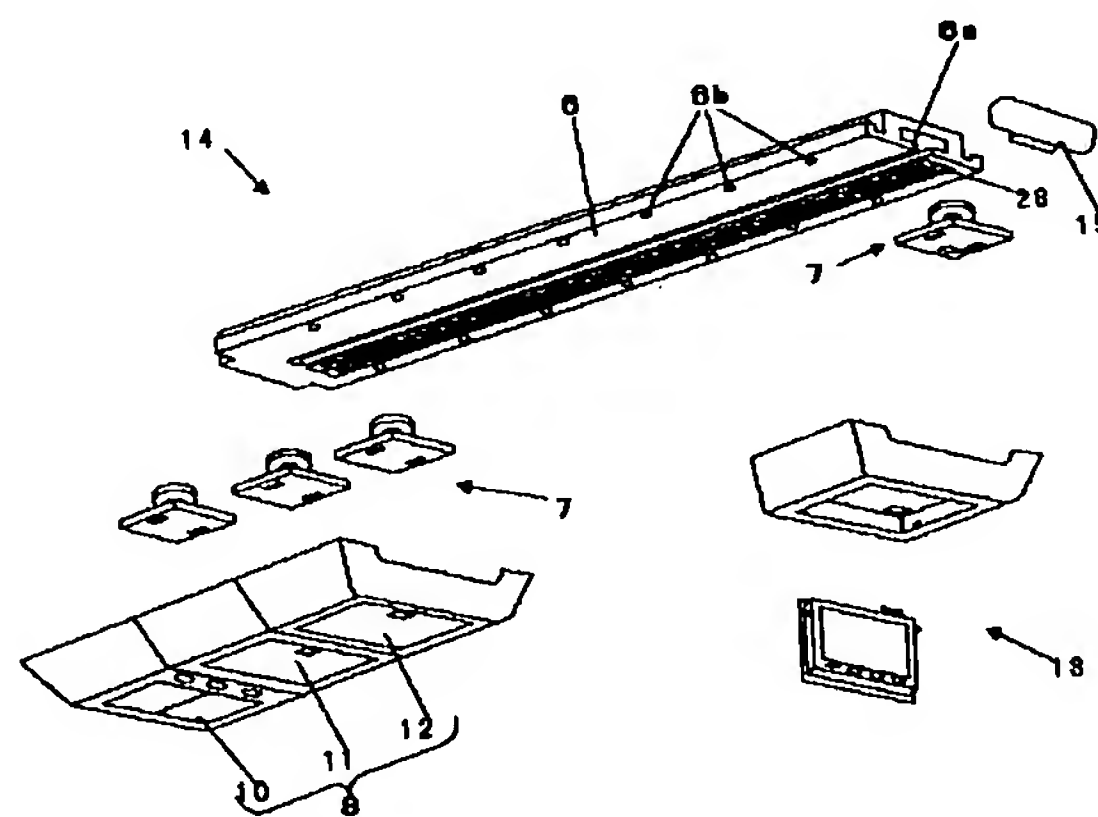
【図2】



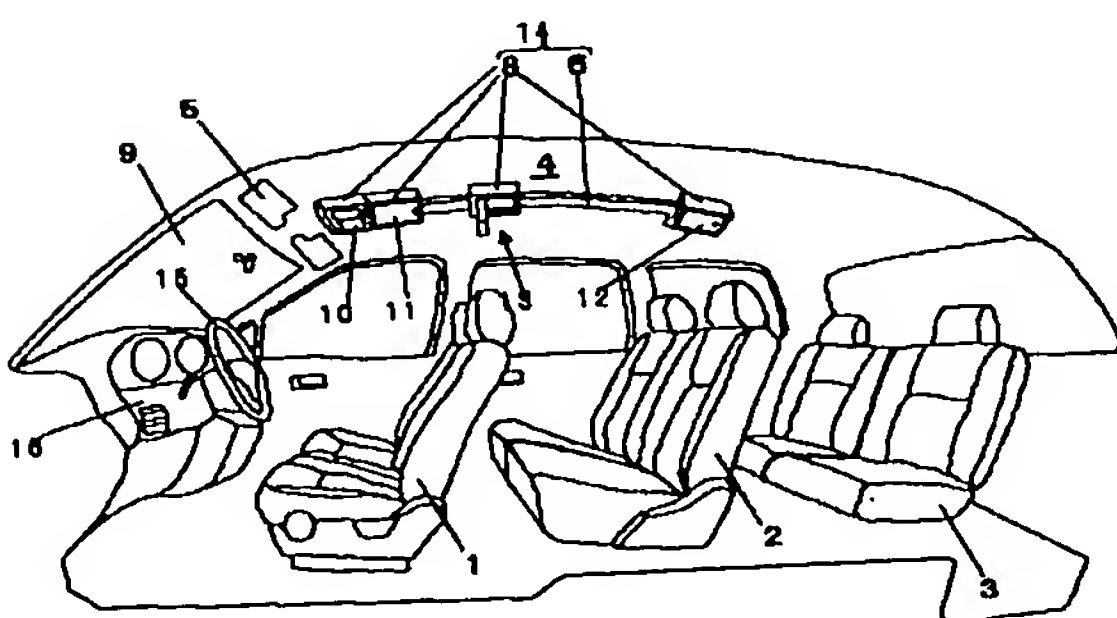
【図3】



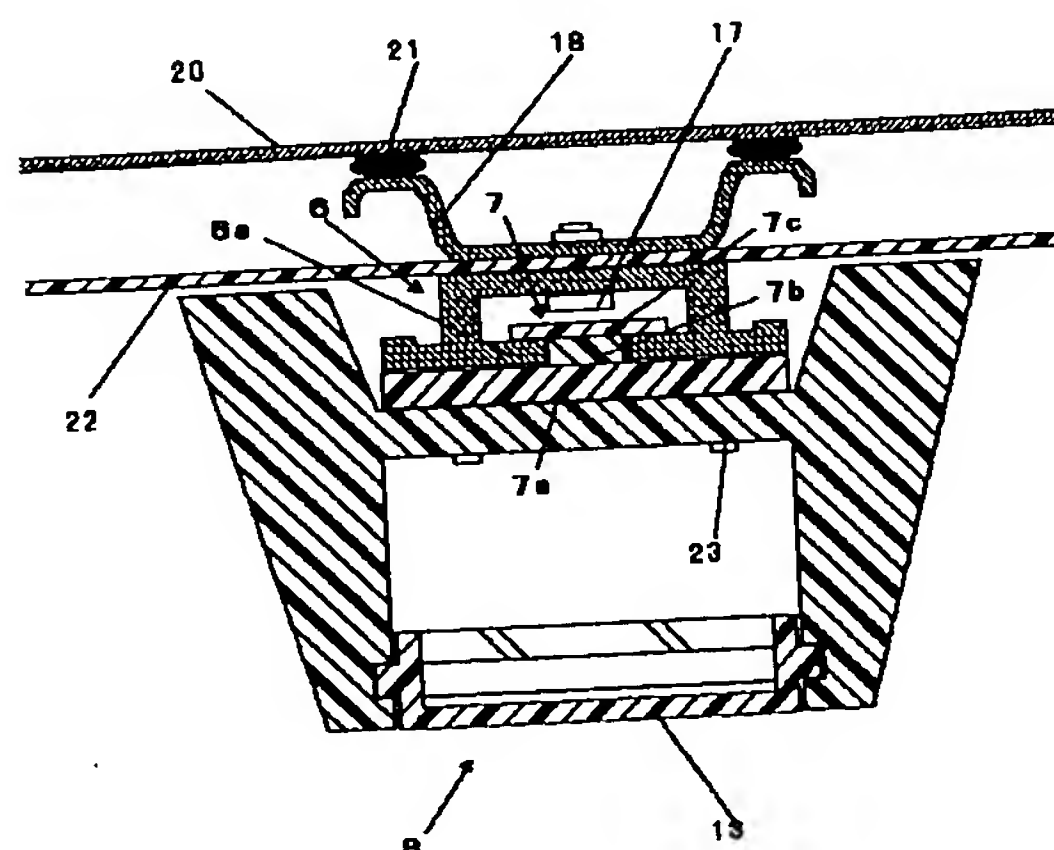
【図4】



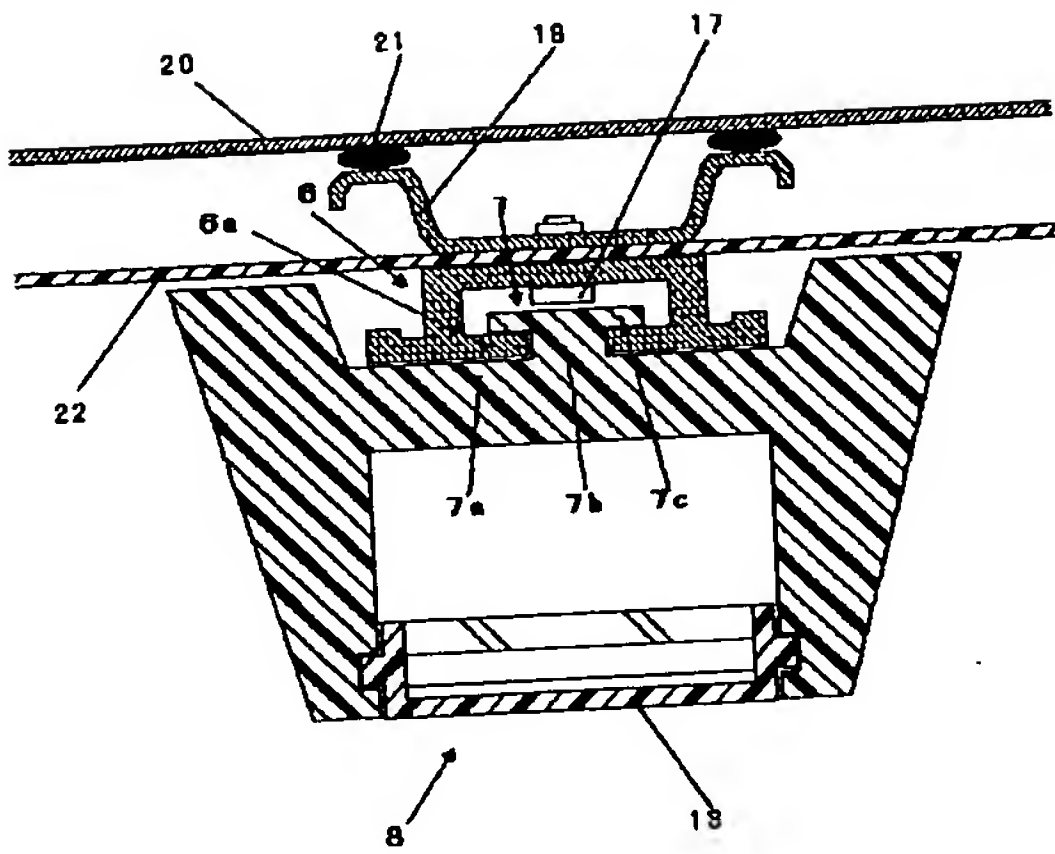
【図5】



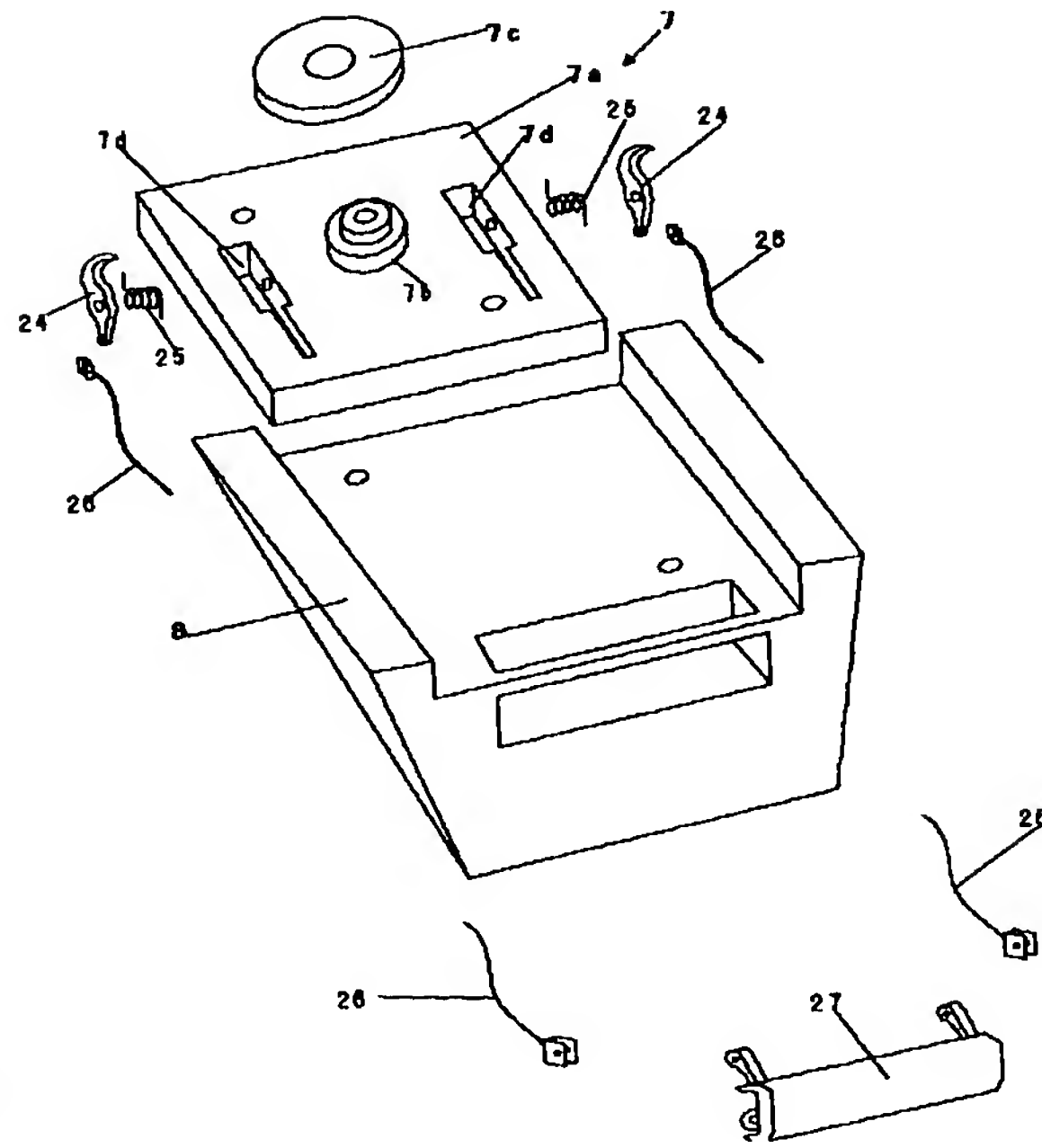
【図6】



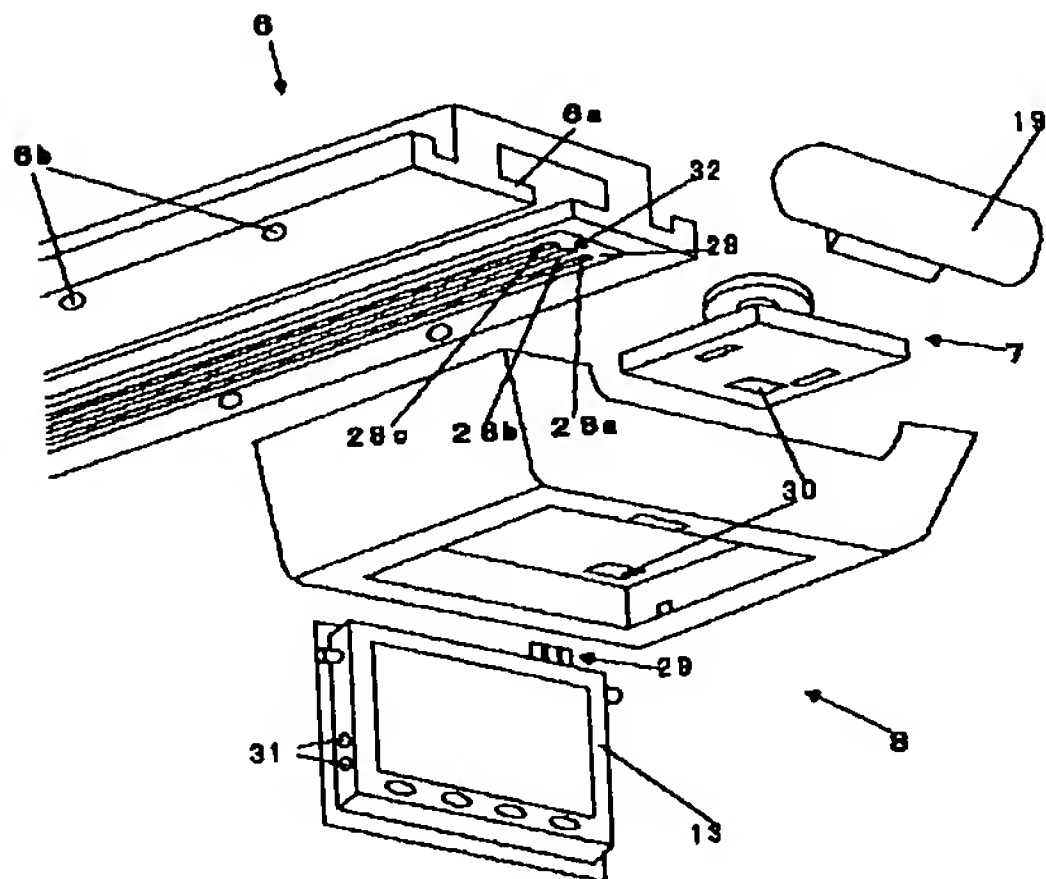
【図7】



【図8】



【図9】



フロントページの続き

Fターム(参考) 3D020 BA04 BB01 BC04 BD02 BD09
 BE01
 3D022 CA01 CB01 CC16 CC24 CD02
 CD05 CD06 CD28 CD30
 3K040 AA02 EA03 FA05 GA02 GA03
 GC01

PAT-NO: JP02003237477A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2003237477 A

TITLE: OVERHEAD CONSOLE STRUCTURE FOR VEHICLE

PUBN-DATE: August 27, 2003

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KIKUCHI, REIJI	N/A
ITAMI, YUKITO	N/A
TAGUCHI, TOMOO	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MAZDA MOTOR CORP	N/A

APPL-NO: JP2002034922

APPL-DATE: February 13, 2002

INT-CL (IPC): B60R007/04, B60Q003/02 , B60R011/02

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To remarkably enhance arranging workability for an overhead console for a front seat and a rear seat, to make using convenience and comfortability for the front seat and the rear seat compatible, and to provide excellent appearance.

SOLUTION: The overhead console 14 is provided with a base frame 6 arranged in an in-cabin ceiling 4, a slide guide part formed in the base frame 6, and arranged ranging over from an upper side of the first line seats 1 to an upper side of the third line seats 3, a base unit slidably engaged in the vehicle-longitudinal-direction along the slide guide part, and a plurality of console units 8 different in functions arranged in the base frame 6 via the base unit. The plurality of console units 8 are arranged in the in-cabin ceiling 4 at the same time, only by arranging the overhead console 14 in the in-cabin ceiling 4.

COPYRIGHT: (C)2003,JPO